

野村クラウドコンピューティング& スマートグリッド関連株投信 Aコース/Bコース

運用報告書(全体版)

第7期(決算日2017年4月27日)

作成対象期間(2016年4月28日~2017年4月27日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2010年4月16日から2020年4月27日(当初、2015年4月27日)までです。	
運用方針	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジ(先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。)により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース/Bコース マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース/Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額			株組 入比率	株式 先物比率	純資 産額
		税分	込配	み金 期騰落			
3期(2013年4月30日)	円 10,297		円 10	△ 7.5	% 92.9	% —	百万円 1,928
4期(2014年4月28日)	12,921		630	31.6	95.9	—	1,006
5期(2015年4月27日)	14,035		725	14.2	99.3	—	822
6期(2016年4月27日)	11,702		450	△13.4	96.6	—	1,304
7期(2017年4月27日)	13,844		700	24.3	92.5	—	1,526

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	基準価額		株組 入比率	株式 先物比率
		騰	落率		
(期首) 2016年4月27日	円 11,702		% —	% 96.6	% —
4月末	11,628	△ 0.6		92.1	—
5月末	11,788	0.7		93.4	—
6月末	11,535	△ 1.4		91.9	—
7月末	12,431	6.2		94.2	—
8月末	12,741	8.9		97.6	—
9月末	13,093	11.9		97.0	—
10月末	12,887	10.1		97.5	—
11月末	13,181	12.6		98.0	—
12月末	13,056	11.6		93.5	—
2017年1月末	13,841	18.3		89.3	—
2月末	14,179	21.2		94.9	—
3月末	14,436	23.4		93.5	—
(期末) 2017年4月27日	14,544	24.3		92.5	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額			株組 入比	式率	株先 物比	式率	純資 産額
		税分	込配	み金 期騰 落					
3期(2013年4月30日)	円 11,094		円 200		% 10.8	% 94.6		% —	百万円 11,886
4期(2014年4月28日)	14,310		700		35.3	99.2		—	8,893
5期(2015年4月27日)	18,064		900		32.5	99.5		—	9,649
6期(2016年4月27日)	14,028		720		△18.4	96.3		—	6,095
7期(2017年4月27日)	16,839		880		26.3	93.2		—	5,983

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	基準価額		株組 入比	式率	株先 物比	式率
		騰	落率				
(期首) 2016年4月27日	円 14,028		% —		% 96.3		% —
4月末	13,760		△ 1.9		92.9		—
5月末	14,090		0.4		92.9		—
6月末	12,825		△ 8.6		91.8		—
7月末	14,029		0.0		94.2		—
8月末	14,247		1.6		97.7		—
9月末	14,374		2.5		98.3		—
10月末	14,673		4.6		97.7		—
11月末	16,084		14.7		97.3		—
12月末	16,522		17.8		93.4		—
2017年1月末	17,192		22.6		90.3		—
2月末	17,456		24.4		96.8		—
3月末	17,741		26.5		95.0		—
(期末) 2017年4月27日	17,719		26.3		93.2		—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

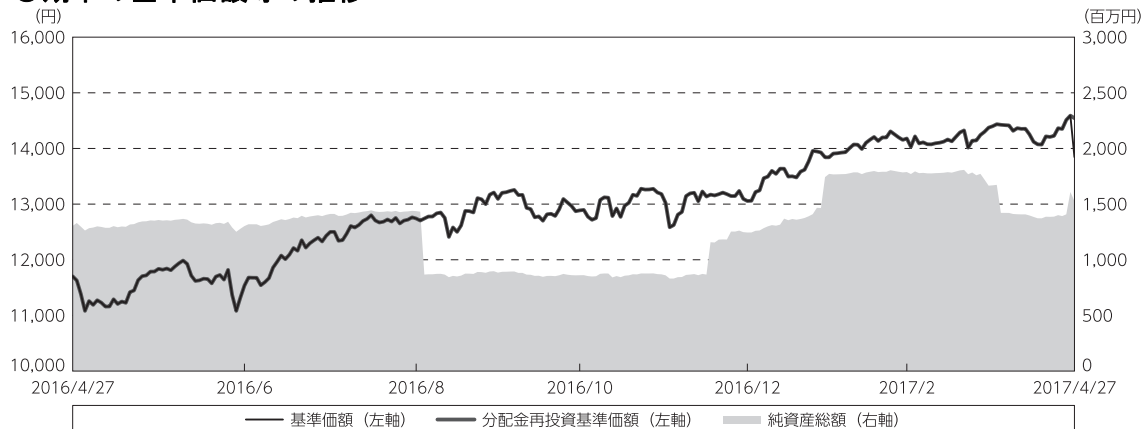
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：11,702円

期末：13,844円（既払分配金（税込み）：700円）

騰落率：24.3%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2016年4月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首11,702円から期末13,844円になりました。

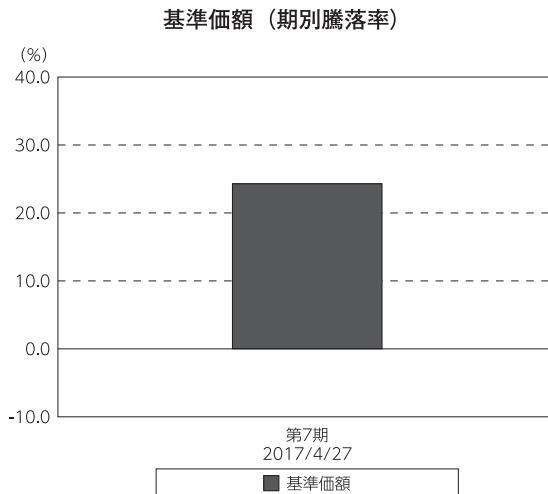
- ・ 2016年6月、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票の結果、離脱派が勝利し、投資家心理の悪化などから株式市場が下落したこと。
- ・ 7月、主要国・地域の中央銀行による政策対応への期待が高まったことや、6月の米国雇用統計や4－6月期の米国企業決算が市場予想を上回ったこと、また、FOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが見送られ、引き続き慎重に利上げ時期が判断されるとの見方が広がったことなどから、株式市場が上昇したこと。
- ・ 2017年1月、中国の経済指標が堅調だったことや、2016年10－12月の米国企業決算が市場予想を上回ったこと、また、トランプ大統領による石油パイプライン建設に関する大統領令への署名などを受け経済政策への期待が高まったことなどから、株式市場が上昇したこと。

<Aコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Aコースで1万口当たり700円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第7期
	2016年4月28日～ 2017年4月27日
当期分配金	700
(対基準価額比率)	4.813%
当期の収益	700
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,045

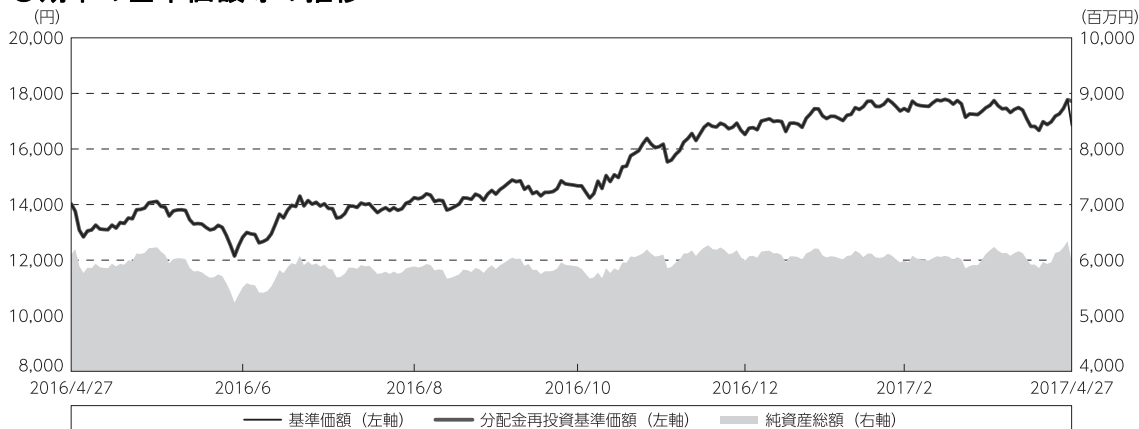
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：14,028円

期末：16,839円 (既払分配金(税込み)：880円)

騰落率：26.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2016年4月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首14,028円から期末16,839円になりました。

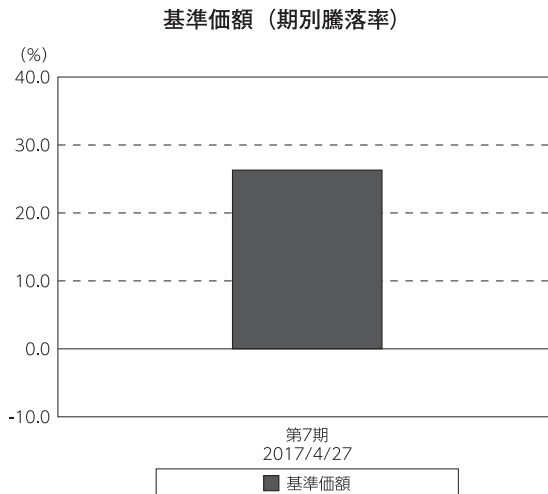
- ・2016年6月、英国のEU(欧州連合)離脱を問う国民投票の結果、離脱派が勝利し、投資家心理の悪化などから株式市場が下落したこと。また、日銀が金融政策の現状維持を決定したことや、EU離脱を巡る英国の国民投票で離脱派が勝利したことで市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、ドル安・円高となったこと。
- ・7月、主要国・地域の中央銀行による政策対応への期待が高まったことや、6月の米国雇用統計や4-6月期の米国企業決算が市場予想を上回ったこと、また、FOMC(米連邦公開市場委員会)で利上げが見送られ、引き続き慎重に利上げ時期が判断されるとの見方が広がったことなどから、株式市場が上昇したこと。
- ・11月、米大統領選においてトランプ氏が勝利し、同氏の掲げる経済政策が注目されたことや、FRB(米連邦準備制度理事会)による利上げ観測の高まりを背景に米長期金利が上昇したことなどから、ドル高・円安となったこと。
- ・2017年1月、中国の経済指標が堅調だったことや、2016年10-12月の米国企業決算が市場予想を上回ったこと、また、トランプ大統領による石油パイプライン建設に関する大統領令への署名などを受け経済政策への期待が高まったことなどから、株式市場が上昇したこと。

<Bコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Bコースで1万口当たり880円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第7期
	2016年4月28日～ 2017年4月27日
当期分配金	880
(対基準価額比率)	4.966%
当期の収益	672
当期の収益以外	207
翌期繰越分配対象額	6,838

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

期中の世界株式市場は、米国や欧州をはじめとする中央銀行の金融政策や英国のEU離脱を問う国民投票、米国の大統領選挙、中国の景気動向などに左右される展開となり、期を通じては上昇となりました。

為替市場では、FRBによる利上げ観測や米国の大統領選挙などに左右される展開となりましたが、期を通じては、ドルは対円で概ね横這いとなりました。

○当ファンドのポートフォリオ

〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース〕および〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース〕は、主要投資対象である〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れました。

〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- ・世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、株価の割安度、流動性等を勘案した上で投資銘柄を選定しました。クラウドコンピューティング関連企業とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する企業や、それら機能やサービスを提供するための媒体となる通信機器を製造する企業等をいいます。また、スマートグリッド関連企業とは、スマートグリッド構築にあたって、電力情報の双方向化、電源の分散化、電力供給の安定化等に寄与する、通信・制御システムを提供する企業や、送配電網関連機器や電力貯蔵装置等を製造する企業等をいいます。
- ・バリュエーション（投資価値評価）の観点から銘柄入れ替えや投資比率の変更を行いました。具体的には、米国のインターネットメディア会社などを購入し、米国のソフトウェアメーカーなどを売却しました。

<Aコース/Bコース>

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース]

・ **株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・ **為替ヘッジ**

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース]

・ **株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・ **為替ヘッジ**

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース]

主要投資対象である〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース]

主要投資対象である〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド]

- ・世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式に引き続き投資をしていきます。
- ・テクノロジー分野においては、クラウド導入が今後も大きな流れであり続けると考えています。一方で、市場心理の変化や予期せぬ成長鈍化などにより株価変動が大きくなることも考えられるので、市場のリスクに注視してまいります。引き続き、組入候補銘柄を精査し、投資価値があると判断した銘柄をポートフォリオに組み入れていきたいと考えております。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年4月28日～2017年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 247	% 1.912	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(139)	(1.080)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(98)	(0.756)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(10)	(0.076)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 有 価 証 券 取 引 税	24	0.187	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(24)	(0.186)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(c) そ の 他 費 用	4	0.028	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	275	2.127	
期中の平均基準価額は、12,899円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2016年4月28日～2017年4月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	千口 632,146	千円 1,381,600	千口 707,872	千円 1,458,900

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2016年4月28日～2017年4月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	20,252,308千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,924,391千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.92	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2016年4月28日～2017年4月27日)

利害関係人との取引状況

<野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A		うち利害関係人との取引状況 D	D/C	
為替先物取引	百万円 32	% 0.5	百万円 6,240	百万円 64	% 1.0	

<野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A		うち利害関係人との取引状況 D	D/C	
為替直物取引	百万円 —	% —	百万円 2,546	百万円 42	% 1.6	

平均保有割合 18.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Aコース>

○組入資産の明細

(2017年4月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	709,667	633,941	1,502,061

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	1,502,061	92.8
コール・ローン等、その他	116,009	7.2
投資信託財産総額	1,618,070	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（7,139,128千円）の投資信託財産総額（7,449,987千円）に対する比率は95.8%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=111.35円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,053,483,977
コール・ローン等	90,223,016
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド(評価額)	1,502,061,456
未収入金	1,461,199,505
(B) 負債	1,526,830,980
未払金	1,436,146,550
未払収益分配金	77,193,455
未払解約金	593,408
未払信託報酬	12,875,638
未払利息	163
その他未払費用	21,766
(C) 純資産総額(A-B)	1,526,652,997
元本	1,102,763,647
次期繰越損益金	423,889,350
(D) 受益権総口数	1,102,763,647口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,844円

(注) 期首元本額は1,114,882,431円、期中追加設定元本額は830,800,094円、期中一部解約元本額は842,918,878円、1口当たり純資産額は1,3844円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額43,099,168円。(野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド)

○損益の状況 (2016年4月28日～2017年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 7,258
支払利息	△ 7,258
(B) 有価証券売買損益	211,898,110
売買益	397,179,784
売買損	△185,281,674
(C) 信託報酬等	△ 24,527,280
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	187,363,572
(E) 前期繰越損益金	△ 4,049,369
(F) 追加信託差損益金	317,768,602
(配当等相当額)	(339,831,981)
(売買損益相当額)	(△ 22,063,379)
(G) 計(D+E+F)	501,082,805
(H) 収益分配金	△ 77,193,455
次期繰越損益金(G+H)	423,889,350
追加信託差損益金	317,768,602
(配当等相当額)	(340,032,764)
(売買損益相当額)	(△ 22,264,162)
分配準備積立金	106,120,748

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年4月28日～2017年4月27日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2016年4月28日～ 2017年4月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	8,486,672円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	139,760,837円
c. 信託約款に定める収益調整金	340,032,764円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	35,066,694円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	523,346,967円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	4,745円
g. 分配金	77,193,455円
h. 分配金(1万口当たり)	700円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	700円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年4月28日～2017年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	291	1.912	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(165)	(1.080)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(115)	(0.756)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(12)	(0.076)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 有 価 証 券 取 引 税	29	0.191	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(29)	(0.191)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(c) そ の 他 費 用	4	0.027	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	324	2.130	
期中の平均基準価額は、15,249円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2016年4月28日～2017年4月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	千口 222,606	千円 444,800	千口 1,024,584	千円 2,083,000

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2016年4月28日～2017年4月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド 20,252,308千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,924,391千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.92

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2016年4月28日～2017年4月27日)

利害関係人との取引状況

<野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース>

該当事項はございません。

<野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 550	百万円 -	% -	百万円 2,546	百万円 42	% 1.6

平均保有割合 81.9%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Bコース>

○組入資産の明細

(2017年4月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	3,305,351	2,503,374	5,931,494

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	5,931,494	93.0
コール・ローン等、その他	449,572	7.0
投資信託財産総額	6,381,066	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（7,139,128千円）の投資信託財産総額（7,449,987千円）に対する比率は95.8%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=111.35円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,381,066,010
コール・ローン等	449,571,387
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド(評価額)	5,931,494,623
(B) 負債	397,279,909
未払収益分配金	312,719,759
未払解約金	26,851,839
未払信託報酬	57,609,913
未払利息	815
その他未払費用	97,583
(C) 純資産総額(A-B)	5,983,786,101
元本	3,553,633,626
次期繰越損益金	2,430,152,475
(D) 受益権総口数	3,553,633,626口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,839円

(注) 期首元本額は4,345,415,651円、期中追加設定元本額は406,223,228円、期中一部解約元本額は1,198,005,253円、1口当たり純資産額は1,6839円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額43,099,168円。(野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド)

○損益の状況 (2016年4月28日～2017年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 25,289
支払利息	△ 25,289
(B) 有価証券売買損益	1,356,832,598
売買益	1,530,351,150
売買損	△ 173,518,552
(C) 信託報酬等	△ 113,857,670
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	1,242,949,639
(E) 前期繰越損益金	162,038,735
(F) 追加信託差損益金	1,337,883,860
(配当等相当額)	(894,759,069)
(売買損益相当額)	(443,124,791)
(G) 計(D+E+F)	2,742,872,234
(H) 収益分配金	△ 312,719,759
次期繰越損益金(G+H)	2,430,152,475
追加信託差損益金	1,337,883,860
(配当等相当額)	(895,026,367)
(売買損益相当額)	(442,857,493)
分配準備積立金	1,092,268,615

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年4月28日～2017年4月27日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2016年4月28日～ 2017年4月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	36,355,386円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	202,490,155円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,337,883,860円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,166,142,833円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	2,742,872,234円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	7,718円
g. 分配金	312,719,759円
h. 分配金(1万口当たり)	880円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	880円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

野村クラウドコンピューティング & スマートグリッド関連株投信 マザーファンド

運用報告書

第7期（決算日2017年4月27日）

作成対象期間（2016年4月28日～2017年4月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。株式への投資にあたっては、独自のボトムアップリサーチにより各銘柄にレーティングを付与し、投資候補銘柄を選別します。各銘柄のレーティングに加え、株価の割安度、流動性等を勘案し、クラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株式への投資配分にも配慮した上で、ポートフォリオを構築します。
主な投資対象	世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株組入比率	株先物比率	純資産額
	円	騰落率			
3期(2013年4月30日)	11,948	12.7	93.8	—	13,893
4期(2014年4月28日)	16,417	37.4	96.5	—	10,141
5期(2015年4月27日)	22,159	35.0	99.7	—	10,446
6期(2016年4月27日)	18,390	△17.0	96.5	—	7,383
7期(2017年4月27日)	23,694	28.8	94.0	—	7,433

*株先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株組入比率	株先物比率
	円	騰落率		
(期首) 2016年4月27日	18,390	—	96.5	—
4月末	18,025	△2.0	93.1	—
5月末	18,488	0.5	93.4	—
6月末	16,846	△8.4	92.3	—
7月末	18,461	0.4	94.7	—
8月末	18,780	2.1	98.0	—
9月末	18,978	3.2	98.5	—
10月末	19,403	5.5	98.6	—
11月末	21,296	15.8	98.0	—
12月末	21,911	19.1	93.9	—
2017年1月末	22,841	24.2	90.3	—
2月末	23,224	26.3	97.1	—
3月末	23,646	28.6	95.2	—
(期末) 2017年4月27日	23,694	28.8	94.0	—

*騰落率は期首比です。

*株先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の変動要因

基準価額は、期首18,390円から期末23,694円になりました。

- ・ 2016年6月、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票の結果、離脱派が勝利し、投資家心理の悪化などから株式市場が下落したこと。また、日銀が金融政策の現状維持を決定したことや、EU離脱を巡る英国の国民投票で離脱派が勝利したことで市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、ドル安・円高となったこと。
- ・ 7月、主要国・地域の中央銀行による政策対応への期待が高まったことや、6月の米国雇用統計や4－6月期の米国企業決算が市場予想を上回ったこと、また、FOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが見送られ、引き続き慎重に利上げ時期が判断されるとの見方が広がったことなどから、株式市場が上昇したこと。
- ・ 11月、米大統領選においてトランプ氏が勝利し、同氏の掲げる経済政策が注目されたことや、FRB（米連邦準備制度理事会）による利上げ観測の高まりを背景に米長期金利が上昇したことなどから、ドル高・円安となったこと。
- ・ 2017年1月、中国の経済指標が堅調だったことや、2016年10－12月の米国企業決算が市場予想を上回ったこと、また、トランプ大統領による石油パイプライン建設に関する大統領令への署名などを受け経済政策への期待が高まったことなどから、株式市場が上昇したこと。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

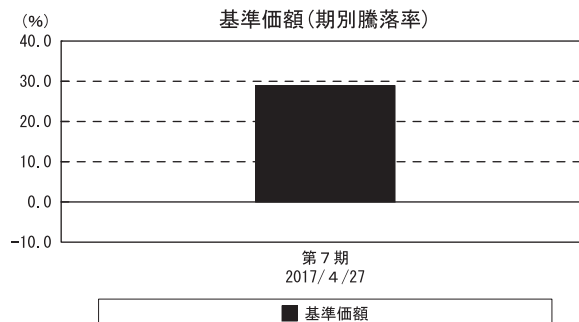
・期中の主な動き

- (1) 世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、株価の割安度、流動性等を勘案した上で投資銘柄を選定しました。クラウドコンピューティング関連企業とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する企業や、それら機能やサービスを提供するための媒体となる通信機器を製造する企業等をいいます。また、スマートグリッド関連企業とは、スマートグリッド構築にあたって、電力情報の双方向化、電源の分散化、電力供給の安定化等に寄与する、通信・制御システムを提供する企業や、送配電網関連機器や電力貯蔵装置等を製造する企業等をいいます。
- (2) バリュエーション（投資価値評価）の観点から銘柄入れ替えや投資比率の変更を行いました。具体的には、米国のインターネットメディア会社などを購入し、米国のソフトウェアメーカーなどを売却しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



○今後の運用方針

- ・世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式に引き続き投資をしていきます。
- ・テクノロジー分野においては、クラウド導入が今後も大きな流れであり続けると考えています。一方で、市場心理の変化や予期せぬ成長鈍化などにより株価変動が大きくなることも考えられるので、市場のリスクに注視してまいります。引き続き、組入候補銘柄を精査し、投資価値があると判断した銘柄をポートフォリオに組み入れていきたいと考えております。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いたします。

○1万口当たりの費用明細

(2016年4月28日～2017年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 39 (38) (0)	% 0.191 (0.191) (0.000)	(a)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	5 (5) (0)	0.024 (0.024) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	44	0.215	
期中の平均基準価額は、20,158円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年4月28日～2017年4月27日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株	千米ドル	百株	千米ドル
		20,941	84,794	21,935 (-)	101,670 (5)
国	香港	-	千香港ドル	8,220	千香港ドル
		-	-	-	3,821
	韓国	7	千ウォン	7	千ウォン
			1,026,454		1,083,726

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	EQUINIX INC	935	328	4,040	1,438

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○株式売買比率

(2016年4月28日～2017年4月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	20,252,308千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,924,391千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.92

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2016年4月28日～2017年4月27日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 550	百万円 —	% —	百万円 2,546	百万円 42	% 1.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年4月27日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ACACIA COMMUNICATIONS INC	—	98	472	52,653	通信機器
AKAMAI TECHNOLOGIES	93	—	—	—	インターネットソフトウェア・サービス
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	—	67	776	86,412	インターネットソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL A	51	32	2,862	318,699	インターネットソフトウェア・サービス
AMAZON.COM INC	50	21	1,941	216,167	インターネット販売・通信販売
APPLE INC	438	371	5,342	594,898	コンピュータ・周辺機器
APPLIED MATERIALS	584	494	2,011	223,955	半導体・半導体製造装置
CARE.COM INC	203	164	194	21,609	インターネットソフトウェア・サービス
CISCO SYSTEMS	770	—	—	—	通信機器
COMCAST CORP-CL A	258	—	—	—	メディア
CORNING INC	658	—	—	—	電子装置・機器・部品
CRITEO SA-SPON ADR	611	603	3,226	359,219	インターネットソフトウェア・サービス
EXPEDIA INC	58	90	1,233	137,402	インターネット販売・通信販売
FACEBOOK INC-A	183	407	5,970	664,789	インターネットソフトウェア・サービス
FINISAR CORPORATION	—	294	664	73,970	通信機器
FIRREEYE INC	—	445	559	62,270	ソフトウェア
FORMFACTOR INC	—	214	248	27,673	半導体・半導体製造装置
GIGAMON INC	—	364	1,332	148,344	ソフトウェア
GROUPON INC	—	1,113	432	48,105	インターネット販売・通信販売
HORTONWORKS INC	113	—	—	—	インターネットソフトウェア・サービス
HUBSPOT INC	208	—	—	—	ソフトウェア
IPG PHOTONICS CORP	95	—	—	—	電子装置・機器・部品
INTEL CORP	947	263	973	108,367	半導体・半導体製造装置
INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES	—	112	1,793	199,703	情報技術サービス
INTUIT INC	80	—	—	—	ソフトウェア
LAM RESEARCH	51	—	—	—	半導体・半導体製造装置
LENDINGCLUB CORP	1,475	1,330	802	89,362	消費者金融
LUMENTUM HOLDINGS INC	—	349	1,523	169,676	通信機器
MASTERCARD INC	107	—	—	—	情報技術サービス
MAXIM INTEGRATED PRODUCTS	177	—	—	—	半導体・半導体製造装置
MICROSOFT CORP	1,073	—	—	—	ソフトウェア
MICROCHIP TECHNOLOGY	152	—	—	—	半導体・半導体製造装置
MICRON TECHNOLOGY	—	783	2,098	233,663	半導体・半導体製造装置
MICROSEMI CORP	333	254	1,247	138,945	半導体・半導体製造装置
MULESOFT INC -A	—	8	19	2,214	インターネットソフトウェア・サービス
NETAPP INC	188	—	—	—	コンピュータ・周辺機器
NEW RELIC INC	139	—	—	—	インターネットソフトウェア・サービス
OKTA INC	—	3	9	1,065	インターネットソフトウェア・サービス
ON SEMICONDUCTOR CORPORATION	1,588	1,293	1,865	207,754	半導体・半導体製造装置
ORACLE CORPORATION	470	—	—	—	ソフトウェア
PAYPAL HOLDINGS INC	—	261	1,163	129,510	情報技術サービス
QORVO INC	230	—	—	—	半導体・半導体製造装置
RED HAT INC	142	—	—	—	ソフトウェア
SALESFORCE.COM INC	227	299	2,545	283,387	ソフトウェア
SERVICENOW INC	—	86	784	87,369	ソフトウェア
SKYWORKS SOLUTIONS INC	225	177	1,826	203,344	半導体・半導体製造装置

銘柄	株数	当期		業種等
		株数	評価額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円
SOLARCITY CORP	606	—	—	—
SPLUNK INC	—	247	1,577	175,642
SQUARE INC - A	—	740	1,339	149,098
STMICROELECTRONICS NV-NY SHS	—	433	685	76,372
TABLEAU SOFTWARE INC-CL A	288	—	—	—
TERADYNE INC	—	344	1,162	129,410
TESLA INC	54	108	3,352	373,349
TRADE DESK INC/THE -CLASS A	—	64	234	26,112
3D SYSTEMS CORP	624	—	—	—
TWITTER INC	1,124	1,653	2,616	291,352
VANTIV INC - CL A	166	142	908	101,113
WESTERN DIGITAL CORP	—	182	1,542	171,797
YELP INC	1,054	492	1,704	189,809
MARVELL TECHNOLOGY GROUP LTD	—	430	633	70,586
NIELSEN HOLDINGS PLC	—	219	865	96,345
TE CONNECTIVITY LTD	155	—	—	—
BROADCOM LTD	97	100	2,231	248,445
小計	株数・金額	16,163	15,169	62,774
	銘柄数<比率>	41	41	—
(香港)			千香港ドル	
LENOVO GROUP LTD	8,220	—	—	—
小計	株数・金額	8,220	—	—
	銘柄数<比率>	1	—	—
合計	株数・金額	24,383	15,169	6,989,974
	銘柄数<比率>	42	41	—

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

外国投資信託証券

2017年4月27日現在の組入れはございません。

銘柄	株数	期首(前期末)	
		口数	口数
(アメリカ)			
EQUINIX INC			3,105
合計			3,105
	銘柄数		1

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2017年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	6,989,974	93.8
コール・ローン等、その他	460,013	6.2
投資信託財産総額	7,449,987	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（7,139,128千円）の投資信託財産総額（7,449,987千円）に対する比率は95.8%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=111.35円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,449,987,843
コール・ローン等	460,013,142
株式(評価額)	6,989,974,701
(B) 負債	16,500,564
未払解約金	16,500,000
未払利息	564
(C) 純資産総額(A-B)	7,433,487,279
元本	3,137,315,810
次期繰越損益金	4,296,171,469
(D) 受益権総口数	3,137,315,810口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,694円

(注) 期首元本額は4,015,019,101円、期中追加設定元本額は854,753,390円、期中一部解約元本額は1,732,456,681円、1口当たり純資産額は2,3694円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース 2,503,374,113円
 ・野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース 633,941,697円

○損益の状況 (2016年4月28日～2017年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	50,343,992
受取配当金	48,459,239
受取利息	360,244
その他収益金	1,589,430
支払利息	△ 64,921
(B) 有価証券売買損益	1,716,671,963
売買益	2,263,848,650
売買損	△ 547,176,687
(C) 保管費用等	△ 1,766,196
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,765,249,759
(E) 前期繰越損益金	3,368,718,419
(F) 追加信託差損益金	971,646,610
(G) 解約差損益金	△1,809,443,319
(H) 計(D+E+F+G)	4,296,171,469
次期繰越損益金(H)	4,296,171,469

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2017年3月31日＞

②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2017年3月31日＞

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2017年4月27日現在)

年 月	日
2017年4月	-
5月	1、25、29
6月	5、15
7月	4
8月	-
9月	4
10月	3、31
11月	-
12月	25、26

※ 2017年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。